



コロナ一過とはまだまだ言えませんが、この2学期には西高祭・体育大会を経験し、クラスの雰囲気も少しずつ打ち解けたり仲の良い友だちができたり、何かようやく高校生らしい学校生活が送れてきたような気がします。

そんな中、前期クラス役員の任期があつという間に終了しました。コロナ休校の分、任期が短く、不慣れなこともあったと思いますが、それぞれの役割を責任もって活動できたと思います。

次は後期の役員にバトンタッチですが、良かった部分は継承し、反省点は改善し、この機会にさらなるレベルアップを図りたい。そこでクラスの正委員長・副委員長が中心となって、クラス・学年を引っ張っていこうと動き出しました。その先駆けとして行われたのが、委員長会議です。

会議のテーマは「どうすれば42回生がレベルアップできるか?」でした。集団としての質が問われる場面(集会の集合状態)に着目し、話し合いを進めました。



目標: チャイム1分前に全クラス集合完了。
方法: 早く移動し、入場する。静かに座る。



冒頭で述べたように、学校行事も経て、少しずつクラス全体が仲良くなり、居心地の良い雰囲気になってきていると思います。しかし、仲良くなったからこそケジメがつけられないこともあります。なぜなら、集団心理には「仲良し=慣れ合い」というものがあるからです。上記の目標を達成するために集団として求められるものは、「仲の良さ」ではなく「協力体制」です。

たかが集合。されど集合。全員が同じ目的を持って行動できる場面を大切に!! 集団としての水準を引き上げるには個々の責任ある行動が大切です。学校生活・人間関係なども併せて、もう一度見直すべき時期であると考えます。42回生のレベルアップを期待しています。

後期クラス役員のスタートを機に、各クラスのローガンを考えてもらいました。(右記)



1組「1組といえばこれ!っていうのをつくる!」

1組はマイナスなポイントはないと思うが、プラスなポイントや特徴といえるものがあまりないので、1組といえばこれだろうというようなことを1つ以上つくりたいと思った。例えば1組はあいさつがどのクラスよりも大きい・どのクラスより頭がいいなど、これなら負けられないというものを作る。

2組「なんとかなるさ にくみだもの」

このローガンは1年2組全員で決めました。「なんとかなるさ」は「何でも自由にしていい」という意味ではなく「失敗しても、2組のみんなが助けてくれるからなんとかなるさ」という意味です。なので、失敗を恐れず、さまざまなことに挑戦し支え合えるクラスにしたいと思います。

3組「あたりまえをあたりまえに 目標に向かってつき進め!!」

当たり前のことをしっかりできる学年にして、それぞれの目標につき進んで目標を達成してほしい。

4組「凡事徹底 注意0」

当たり前のことを当たり前ででき、先生から注意されることなく自分たちで動けるクラスにしたい。

5組「どんなことにでも全力で楽しんで取り組めるクラスにする!」

1つ1つのことを全力で取り組み、その1つ1つを最高の思い出にする!

6組「授業前後の挨拶をしっかりとる」

コロナ対策の影響で挨拶なしの期間が続いてしまっていたため、挨拶の習慣がついていないので、これを機に声を出していく。

7組「挨拶でメリハリのつけられるクラス」

7組は、授業と休み時間とのメリハリがついていないときがあります。それを改善するために授業前・後の挨拶をしっかりとることで、授業に集中し、1つのことに区切りをつけられるクラスにする。

各クラスの個性ある目標を見ると、これからが楽しみです(^_^)達成できるように協力しよう! 下写真は、花づくり委員会の活動です。昇降口前やプールの入口などを色とりどりに飾りました。



E Uがやってくる（国際交流行事）

11月10日（火）5・6限、本校体育館にて「EUがあなたの学校にやってくる！」があります。EU加盟国のルーマニアから講師（大使）を招き、本格的な国際交流を経験できることは興味深く楽しみです。

事前学習として、ルーマニアについて調べ学習を行いました。ルーマニアの歴史・政治・経済から衣食住・教育・農業などなど、班によって調べることは様々で、見ていて興味を惹かれるものが多かったです。調べた内容を用紙にまとめ、廊下に掲示しました。

イラストで見栄えるものについて目がいってしまいがちですが、イラストが無いものでも、よく読むと面白いことが書かれているので、ぜひ内容をよく読んでください。

貴重な経験になると思うので、ルーマニアに対する興味・関心を膨らませておきましょう☆



大手前大学国際看護学部への校外実習を終えて

引率教諭：西村俊紀

10月19日（月）、大手前大学国際看護学部で総合ヒューマン類型の校外学習を行いました。大手前大学では、①看護師という仕事についての説明、②大学内の施設見学、③体験授業という3部構成のプログラムが用意されており、それぞれとても興味深いお話を聞くことができました。

最後の体験授業では、体の内部から出る音について講義を受けた後、全員が聴診器を手に取り、実際にその音を聞き分けるということにチャレンジしましたが、生徒たちは音の聞き分けにとっても苦戦しているようでした。医療に携わるには確かな知識や技術を身につけないといけません。その一面を垣間見たのではないのでしょうか。しかし、生徒たちは今回の校外学習全体を通じて、看護師という仕事の難しさだけでなく、看護師という仕事の良さややりがいなど様々なことを感じ取っていたように思います。

総合ヒューマン類型での校外学習は今回が初めてとなりましたが、普段とは違う場所に身を置いて学習するのはとてもよい刺激になったのではないのでしょうか。特に将来看護師になりたいと考えている生徒たちにとっては印象に残る校外学習だったと思います。

これからも講座が予定されています。色々な分野の人たちと触れ合い、自分自身の進路を考える糧にしたいと思います。

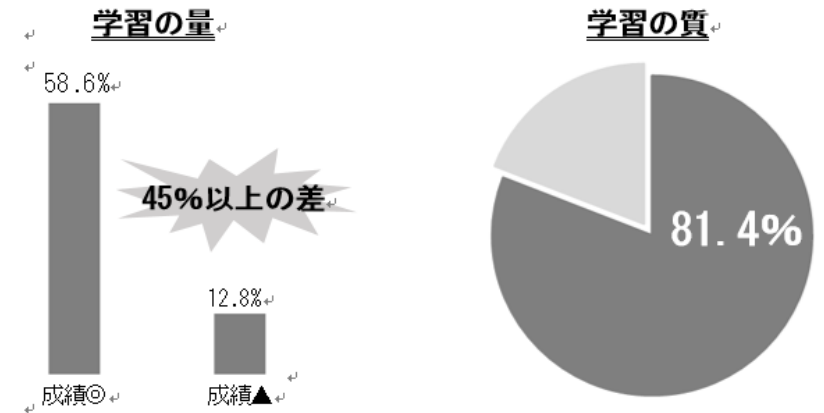


【進路係から】模試について

『学習習慣を「量」と「質」から見直そう』

10月末の模擬試験お疲れさまでした。1科目80分以上の試験は初めてのことだったと思いますが、多くの人が最後まであきらめずに問題に取り組んでいましたね。今回の模試を通じて42回生のみなさんが全国レベルでいったいどれくらい点数がとれたのか、先生たちも結果を楽しみにしております。

さて、今年も残すところ2ヶ月となり、42回生のみなさんは文理選択も決定し、学習に集中できる時期を迎えます。落ち着いて学習に取り組める今、学力を伸ばすためには、どのような学習を心がければよいでしょうか。下には、学習の「量」と「質」に関連する先輩方のデータを出しています。



このデータは…
「平日1時間30分以上勉強している」
成績◎と成績▲の割合」
⇒成績◎と成績▲では45%以上もの差が！

この割合は…
「ただ暗記するのではなく、理解して覚える」
成績◎の割合」
⇒多くの成績◎が「理解」を大事にしている

データは、2019年度スタディーサポート1年生第2回全国集計結果より。「成績◎」はGTZ（学力）：S1～S3（難関大合格レベル）、「成績▲」はD1～D3（基礎・基本養成レベル）の生徒の平均回答率。
※「GTZ（学力）」は、学力の到達度をS1～D3の15段階の大学群で表示したものです。

上記のデータからもわかるように、学力の向上には、学習の「量」と「質」の2点を両立させた学習習慣が求められますね。**1.5時間の勉強と理解に重きをおいた学習**、みなさんはできていますか？ ついつい、スマホに気を取られてしまって時間を無駄にし、集中力のない勉強時間を過ごしていませんか？ 考査前にみなさんが書く学習記録表の内容や時間は本当に意味のあるものになっていますか？ それぞれの進路実現に向けて、いま一度、自分の学習に対する姿勢を振り返ってみてください。そして、今回の模試の自己採点を行い（1日でも早く取り組むことが大切）自分が理解していないところ、苦手なところの発見と克服に取り組みましょう。そして、調べてもわからないところは、どんどん先生に聞きにいきましょう。今回の模試を有意義なものにするためにも、この後が大切です。やって終わりじゃないよ。しっかりと活用して、どんどん成長していきましょう。

【コメント記入欄】

1年組 氏名

※ご質問・ご意見など自由にご活用ください。ご記入いただけたらお子様に持たせてください。